

意見交換会概要

日時	平成25年 6月 6日（木） 19 : 30 ~ 21 : 00
場所	逢坂地区公民館（逢坂地区座談会）
参加者数	約20人
出席者	長谷川参事、校区審議室（小谷、清水）、山田支所長、安藤副支所長、茅山課長補佐ほか

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	<p>前回の意見交換会にも参加したが、統合は賛成。子供は競い合ったり協力したりし、いろいろな人間に触れ合うことで成長する。少ない人数より多くの人数の中で生活した方がよく、子供のためになる。しかし、中学校の建設予定地は問題だ。耐震問題は校舎を新築で解決するだろうが、津波被害について考慮されていない。浜村小学校は低い位置に建っており津波の心配が付きまとう土地。高台にある中学校をあえて低い土地に持つてくることは納得できない。高台に建てるべき。統合により学校用地が空いたから、そこに新学校をもつてくるというのは安易すぎる。小学校、中学校ともに津波、地震の心配のないところに建てるべき。</p>
参加者 B	<p>中学校の統合問題についてひとこと。気高3町においても、気高、鹿野と青谷は以前から山東、山西と言っていたように異なった背景をもっている。青谷は広大な土地があり、また歴史もある地域。今回の協議の経過を見ても青谷の地域審議会では中学校の統合案に反発している。「校区再編に係る青谷地域審議会の意見としては『中学校の統合には反対』ということをごここで再確認しておきます。」と青谷の支所だよりも掲載してある。青谷地域審議会の意見は、耐震診断の結果もさることながら、校舎の老朽化が著しく改築の要望をだしており、前向きな回答をもらっていたにもかかわらず、蓋を開ければ今回の統合話。青谷の人も納得していないから、地域審議会も反発していると思う。そもそも、あの大きな町の青谷から中学校をなくし浜村に來いとは乱暴な話だ。3町での統合案など考えた時点で無理があるのは明らか。学校をなくすことは過疎化に拍車をかけることにもなる。少子化が進むから統合というならば、今後も統合の話が付きまとう。少子化が進むから統合ではなくて少子化に歯止めをかける対策が大切。耐震結果が悪ければ、今の中学校を改築すればいい。気高にも新しい校舎を建ててほしい。</p>
参加者 C	<p>子供の数は減る。現状では小学校統合も致し方ないと考える。しかし、西部地域も今後、子供の数は減っていくことが分かっているのに、なぜ地域の活性化策、振興策を打たないのか。今後、山陰道も開通し、市内へのアクセスも便利となる。人が増えることも考えられる。農業、商業、工業、観光業などトータル的に考え振興策を打ち出さなければ、人口減の対策とならない。「教育委員会は人口増加策、地域振興策はできませんが、少子化は避けられないので子供のために統合します。」といった縦割り行政では地域は尻すぼみとなる。まずは人を増やす努力をするべきだ。仮に統合すれば教育環境も向上し、専門的なカウンセラーの配置も可能となるだろうが、カウンセラーが子供の問題を解決できないことも、地域なら出来ることもある。地域の住民との触れ合いこそが子供のためにもなると考える。</p>
参加者 D	<p>この「学校のあり方」についての周知の仕方の改善を要望する。PTAの対象の説明会、またPTAと地区住民を対象とした30分ほどの意見交換会を過去に開催しているが、逢坂地区300世帯ほどある住民にどれだけ浸透しているのか。知らない住人も多いと思う。地域に影響を与えるこの案件、実際には半分も情報が浸透していない。説明会や意見交換会を企画しても用事のため出て来れない人もいる。資料を全世帯に配布するとか、住民に情報が届くよう丁寧な対応、周知が必要だ。</p>

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	小学校の統合については2校（浜村と逢坂、宝木と瑞穂）での統合がいいと思う。小学生の通学は徒歩が基本、スクールバス通学となると体力がつかないと思っている。この年代に基礎体力をつけることは大切。4校統合となるとスクールバスでの通学する可能性が高くなる。子供のためにも2校統合で、できるだけ徒歩通学が望ましい。
参加者 C	歩いて通学することは大切。すれ違いざまに挨拶したり、会話するなど子供にとっても住民にとっても気持ちいいものだし、地域も子供のことを気にかける。しかし、バス通学となると子供と地域はこういった係りを持つてなくなる。昨今、人との触れ合いが少なくなったため、未成年者の事件が起こっていると思う。子供も毎日顔を合わせ「顔見知り」となることで人に関心をもつだろうし、大切に作る心も育つ。犯罪の抑止につながる。バス通学は地域との交流が欠けることになる。瑞穂小は今でも大人と子供が一緒になって通学しているが、こういう触れ合いこそが大切。地域の人と交流した思い出や、その感謝の気持ちは大きくなっても失うことが無い。子供数が少なくなったから統合とは、一口に言えない。
参加者 E	「学校のあり方」についての資料だが、毎月一回配られる支所だよりと同じように、各戸配布物として全世帯に配っていただきたい。